

創徳中学校通信



行事, その前と後も大切に

5月12日(金), 快晴のもと体育祭が開催されました。本年度も期待通りの「一生懸命」「支え合う」姿勢が見られた素晴らしい体育祭でした。2, 3年生の皆さん! 先輩たちから体育祭に臨む姿勢, 精神をしっかりと引き継いでくれたと感じました。ありがとうございます。1年生の皆さんこれが創徳中学校の体育祭です。覚えておいてください。

さて, 体育祭当日の素敵な姿を書きましたが, 実は体育祭当日以外にも素敵な光景がありました。とはいっても, 私が実際見たわけではありません。それは, あるクラスの学級通信の記事をみて「この気持ちわかる!」「これ自分も担任をしていた時, すごく嬉しかったな～」と共感するとともに, 昔を思い出しました。内容は, 「体育祭の選手決めてなかなか決まらず困ったときに〇〇さん, □□さん, △△さん, ☆☆さんが選手・補欠に手を挙げてくれて助かりました。」また, この記事の前には入学式の準備を手伝ってくれる人を募ったところ立候補してくれた人が数人いたことも書かれていました。落ち着いた文章ながら担任の先生の「嬉しさ」と新しいクラスへの「期待」と「こうあってほしい」という強い思いが伝わってきました。

クラスで力を合わせて取り組む行事は, 本番当日の結果に目がいきがちです。しかし, 行事を充実したものにするためには当日の結果の良し悪しよりも, 本番に臨む前にその集団がどんな雰囲気を作り上げているかが重要です。そして, 行事後も良い雰囲気を行事だけで終わらせるのではなく継続していくことも大切です。

素晴らしい体育祭は終わりましたが, 素晴らしい学級, 素晴らしい学年, 素晴らしい創徳中学校になるよう今後につなげていってください。お願いします。



【体育祭の感想】

最初、運動が苦手だからあまり乗り気じゃなかったけど、練習していくうちにだんだん楽しく感じるようになった。その理由は、多分だけクラスの人の声かけや周りの環境がすごく優しかったからだと思います。体育の授業で練習した時はハリケーンの棒を「もっと低くして!」とか、勝つための声かけをしてくれてコツとか自分が跳ぶ時のことを考えることができました。初めて「箱棒ル」の練習をしたときは、何度も落として失敗してしまっただけど、みんなからアドバイスをもらったり、ペアの子とうまくいくように作戦を立てたりして本番には1回も落とさずに運ぶことができて、クラスも1位になることができました。それはみんながアドバイスをしてくれたからだと思います。3, 4組で全員リレーを初めてした時、私がぬかされてしまって勝っていたのに負けてしまって「自分のせい」とか思ってしまったけど、友達が「そんな気にすることじゃないよ」みたいに言ってくれてすごく助かりました。この経験を生かして、自分も人に思いやりを持って接していきたいと思いました。

閉会式の時に、「こんなに楽しかったり悔しかったりする体育祭が終わってしまった」という寂しさがこみ上げてきました。私たちが卒業しても、この楽しさ、活気、悔しさなどの思い出を後輩たちに受け継いでほしいと思いました。

〈部活動表彰〉



【陸上】

○第1回鈴鹿市記録会 (4/8)

- ・ 中学男子棒高跳 1位 2m80 2位 2m40
- ・ 中学男子砲丸投 2位 11m16

○第39回三重リレーカーニバル (4/23)

- ・ 中学男子砲丸投 3位, 4位
- ・ 中学男子棒高跳 5位
- ・ 中学女子棒高跳 8位

【ソフトテニス】

○令和5年度鈴鹿市部安部杯争奪学校対抗ソフトテニス大会 (4/22, 29)

- ・ 団体 男子の部 3位
- ・ 個人 男子の部 優勝
5位

【女子バスケット】

○第53回安部杯争奪鈴亀地区バスケットボール大会 (4/30)

- ・ 3位 優秀選手2名

【男子バスケット】

○第53回安部杯争奪鈴亀地区バスケットボール大会 (4/30)

- ・ 3位 優秀選手2名